



# いずみ

令和6年5月31日発行

<学校教育目標>

自ら行動する子  
かかわり合い、  
よりよい自分を  
目指す子

学校HP



コミュニティ  
スクール



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

## 自分たちで作る和泉小学校

### ～児童運営委員会の活動を核として～

校長 鷲見 真太郎

本校では今年度より児童運営委員会(いずみサミット2024)を発足し、子供たちが主体となった学校運営の取組を進めています。委員は、各委員会の委員長、第4～6 学年の学級代表です。教員も、特別活動主任、第6 学年の主任、教務主任が担当し、会議の内容に応じて、その他の教員も入ります。基本的には子供と教員が同列の立場で話し合いに臨みます。子供たちだけで難しい部分は教員がサポートしたり、学校運営上の考えを伝えたりすることはありますが、議題や提案、そして会議の進行は子供たちが行います。会議を開催する枠も、毎週水曜日をこれまでのいずみ班活動の時刻と同様にすることで、中休みの35分間に行い、会議に参加する子供たちが放課後に残るなどの負担とならないようにも配慮しています。(会議に参加した児童は、昼休みに休み時間を確保します。)定例として、月に1回の開催としていますが、議題の提案数や会議の進行具合によって、臨時で増やしていくことも考えています。

現時点では第4回目まで開催しています。第1回目は、初めに私から本会議の意義について話しました。その時の子供たちの表情から、会議に向けた意気込みや本気度が熱気として伝わってきて、その後行った、正副の委員長決めもたいへん力のこもったものとなりました。

第2・3回目は、運動会の係活動について、委員会間の調整を行いました。本校では昨年度より、運動会は各委員会でどのような仕事ができるかを考えて、可能な限り子供たちの力で運営しています。今年度も第1回目の委員会で話し合ったものを集約し、重なる部分などを調整しました。運動会当日、自分たちの学年の演技や競技だけでなく、委員会主体の運営面での活躍も、ぜひご覧になってください。(下記の二次元コードより、感想等をお聞かせください。)

そして、第4回目は5月29日に開催し、あいさつ運動について話し合いました。運動会同様、あいさつ運動を盛り上げる様々なアイデアが、各委員会より提案されました。5・6年生全体が関わることで、これまでと違ったあいさつの取組が展開されることを期待します。また、全校児童からの意見を集めるための議題箱についてもアイデアが出されました。

今後は、行事だけでなく、学校の決まりや子供たち自身が実現したいことなど、子供たちから提案される議題についても話し合っていく予定です。子供たちが、自分たちの力で、和泉小学校をどのようによりよくしていくのか、本当に楽しみです。



#### 6月の生活目標

すすんであいさつをしよう

- 「お・あ・し・す」のあいさつをしよう。
- 呼ばれたらはっきり返事をしよう。

#### 6月の安全指導

雨の日の交通安全・廊下の安全歩行

- 梅雨の時期ということで、傘の扱い方や安全な登下校について指導します。また、梅雨の時期は廊下などが湿り、滑りやすくなるので廊下の安全歩行についても指導します。

#### ふれあい月間

6月は「ふれあい月間」です。学校では、たくさんの子供たちがいるので、トラブルやもめ事が必ず起きます。しかし、いじめは絶対にいけません。学校は、いじめを許しません。そこで、ふれあい月間では、子供たちがよりよく学校を過ごしているかを知るための「心のアンケート」を実施したり、道徳の学習でいじめや人との関わりについて考えたりしながら「いじめ」について考え、いじめ防止の意識をより高めていきます。そして、いじめのない学校を目指し、全教職員で和泉小の子供たちを見守り、よりよく過ごせるように今後も指導していきます。